

令和6年度 事務職員海外派遣研修報告

研修期間：2025年1月9日（木）～1月27日（月）

研修先：ユタ工科大学

研修者：1名

研修目的：2024年度事務職員海外派遣研修

国際化の意識を醸成するとともに「創造できる職員」を目指す

ユタ工科大学について

設立：1911年

形態：公立大学

学部：6学部

Health Sciences, Business, Humanities & Social Sciences, Arts, Education, Science
Engineering & Technology

スケジュール

日付	研修時間	内容
1/10(金)	11:30 am - 3 pm	<ul style="list-style-type: none">・昼食会（顔合わせ）・イノベーションセンターの紹介・セントジョージの街紹介
1/13(月)	9 am - 2 pm	<ul style="list-style-type: none">・留学生確保のためのオンライン MTG・学内案内 事務オフィス・留学派遣担当者の業務見学
1/14(火)	9 am - 2 pm	<ul style="list-style-type: none">・OIP における留学生支援・アカデミックサポートオフィス紹介・正規の日本人留学生（ISL）からの説明・名城留学希望者と面会・教員/学生による討論会見学
1/15(水)	9 am - 2 pm	<ul style="list-style-type: none">・OIP オフィス説明（留学生バイト/ISL）・ISL などの奨学金説明・入学希望者とのやりとり、エージェントを通じての入学希望者の受入・職員 Web サイト機能紹介、学生との連絡履歴のデータベース
1/16(木)	9 am - 2 pm	<ul style="list-style-type: none">・エージェントとの契約・エージェントへの支払・留学生イベントについて（入学オリ/卒業セレモニー/ショーケース）・経費支払方法
1/17(金)	All day trip	Las Vegas 視察

日付	研修時間	内容
1/21(火)	8 am – 5 pm	<ul style="list-style-type: none"> ・ Dixie Middle School での朝食・学校見学 ・ St. George 市役所訪問・教育委員会訪問 (岐阜県揖斐川町の中高生団体と行動) ・ 寮見学・ESL 授業見学
1/23(水)	9 am – 2 pm	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学希望者とのやりとり ・ 入学資格確認 ・ 入学予定者とのやりとり
1/24(木)	9 am – 5 pm	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学担当者 MTG 見学 ・ 留学希望者の申込み～データ処理 ・ 留学希望者との面談・ESL 授業見学
1/25(金)	9 am – 5 pm	<ul style="list-style-type: none"> ・ OIP スタッフ誕生日祝用デコレーション手伝い ・ Provost と面会・留学生用授業見学 ・ 留学生パーティー・エージェントとの MTG

概要

事前に研修参加者自身がユタ工科大学で学びたい内容をまとめ、それを基にユタ工科大学がアレンジしたプログラムに沿って、研修が進められた。

先方へ依頼した研修内容の希望は留学生向け支援を中心とした以下の項目である。

- アカデミックサービス
- 奨学金
- 学外における生活サポートや困りごと対応
- 住居：寮とホームステイ等

研修は、Office of International Program（以下、OIP）で行い、留学生のリクルート担当、ユタ工科大学の留学派遣担当者、Exec Director からマンツーマンスタイルで普段の業務の紹介を受けた。

研修の成果

業務紹介により、ユタ工科大学と本学の国際部門の違いについて明らかになったことは以下の通りである。

- 職員数 5 名で留学生数約 180 名と留学希望者を対応（本学では職員数 12 名で留学生約 80 名を対応）
- 少数精鋭で業務を行うにあたり、リクルートエージェントや学生アルバイトを活用する等の工夫を行っている。
- 留学生を沢山呼び込むためのエージェントの活用（書類不備等もエージェントが対応）
- 新規学生呼び込みのためのパーティー開催（地元の高校へ呼びかけ）

- 業務はほぼ全てデータベース化しており、紙媒体はPCへ取り込んだ後、破棄
- 入学希望者からの連絡・提出データを一括管理できるシステムの導入
- 受付担当以外の事務職員は個室で業務
- 職員採用/業務形態（基本的にジョブローテーションは無く給与も業務によって異なる）
- 業務の権限委譲（予算を担当者に割り当て/担当者が大学から支給されているクレジットカードで物品等を購入）
- 会議での軽食配布
- 学生アルバイト及び奨学金の運用（留学生はキャンパス外ではアルバイトが出来ない）
- アカデミックアドバイザーが学生の希望等を聞き、適切に履修計画をアドバイス
- 国際部門の Exec Director が学生と面談を行い、サポートも直接対応 ※
- 大学内幼稚園の設置（職員が子供を預けることができ、幼稚園教員を目指す学生が実習などで面倒を見ており、学生の勉強にもなる）
- 寮では、6人が1ユニットで生活しており、個室2部屋、相部屋が2部屋の体制でシャワー・トイレ・洗面は共用

※Exec Director が個別に対応した具体的事例として、以下に例を示す。

留学生が海外送金に対応している銀行で、銀行での生年月日登録間違いにより、学費支払いのための預金引き出しが行えず、OIP スタッフに相談した。OIP スタッフは学内の支払い締め切りについて、問題が解決できるまで猶予してもらえるよう、学費や寮費を統括している部署に掛け合い、学生とともに銀行窓口へ同行し、発生している問題について説明。

所感

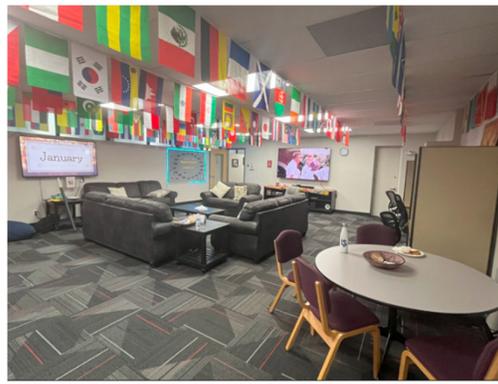
ユタ工科大学では、民間団体のものも含めると奨学金の種類が豊富にあり、奨学金獲得にあたっては上限額を定めていないため、学費以上に奨学金を獲得しており、学業に専念している学生もいる。その他、人数を設けずに成績基準を満たせば、獲得できる奨学金があり、学生が学業に専念するようなインセンティブが図られていると感じた。本学では留学生を対象とした私費外国人 A 奨学生制度がこれにあたる。学生の出身地によって、学費の設定が異なり、ユタ州やグッドネイバーの州出身者以外は学費が高く設定されているため、奨学金の獲得は重要となる。本学では、学費を上限に奨学金の額が定められているが、学業へのモチベーションアップ、専念を図る施策としてこうした取り組みは大変参考になった。

学費を全て大学側がカバーするリーダー制度の一例であるが、学業・人物ともに優秀な学生が選出され、授業のコマ以外は相談窓口へ常駐し、学生サポートを行っている。学期始めにはキャンパスツアーを行い、勉強や生活に関することの相談など、相談内容は多岐にわたるが、どの窓口に行けば具体的な支援が受けられるかを伝える役割をしており、気軽に困りごとを相談できる体制になっている。

以上



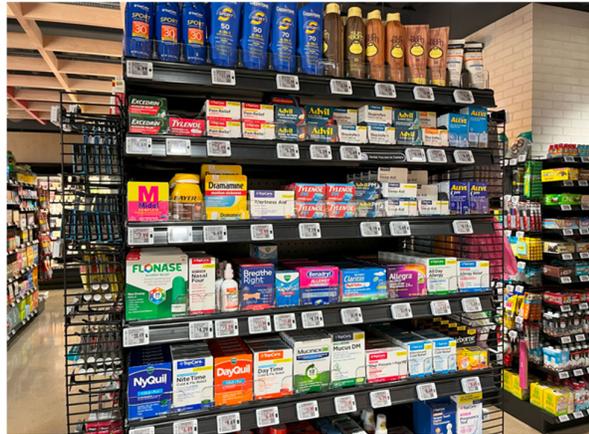
↑OIP（研修を受けた建物）OIP の隣にはバスケットボールができるコートがある



↑OIP 留学生が歓談したり、自習するスペース



↑寮 外観



↑寮内のコンビニ



↑図書館 外観 図書館入り口に学生サポート窓口がある



↑学生サポート窓口（写真右側）



↑バスケの試合用 アリーナ



← 体育館 クライミングウォール